

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 31

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		民有林火災予防巡視事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	林務係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	石井弘道		氏名	辻栄浩二	
事業の概要	雄武町における林野火災の絶滅を期するため、森林愛護組合をはじめ官民一体の取り組みを行っており、雄武町林野火災予防対策協議会の決定に基づき、警防思想の普及宣伝や巡視活動等を実施する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,000 千円 事業費計 3,000 千円		
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )			
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	#	消防・救急・防災体制の強化				
	単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化				
	事務事業の種類		自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円	
	合計	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円	600 千円	

591

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	民有林	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	林野火災の絶滅	巡視員の配置 3名			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	林野火災の未然防止や早期発見	指標 (指標計算式 / 解説)	巡視員の配置 / 巡視員の配置実績	目標年度	平成21年度
				目標値	3名
				実績値	3名
				達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	安心して暮らせる町づくり			目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
巡視員の配置	林野火災の未然防止や早期発見を図るため、特に注意を要する予防強調期間に巡視員3名を配置し、警防思想の普及宣伝や巡視活動を実施。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	災害予防対策を図るための事業であり、林野火災の未然防止の取り組みは、行政が責任を持って行っていく必要がある。 当該事業を実施しない場合、警防意識の向上が図られず、林野火災の未然防止や早期発見に影響を及ぼす。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	一般入林者等へ広く予防啓発を促すことにより、効果的な予防対策が行われた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	本事業については巡視員の配置を行うものであり、巡視する期間は林野火災危険期間のうち、特に注意を要する予防強調期間に実施するもので、充分コスト削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	森林が持つ公益的機能の恩恵を誰もが享受している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
一般入林者等へ広く予防啓発を促すことにより、効果的な予防対策に繋がるので、林野火災の未然防止を図るうえでも、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>継続 / 現状維持</b> 山林は貴重な財産であり、一度山火事が発生すると大規模な災害に発展することも予想されるところであり、巡視活動はもとより警防意識の向上を図ることは重要と考えられるので、引き続き継続して実施するのが適当である。 *展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止		

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--